

第3回 佐波川流域治水協議会

日時：令和3年2月16日 16:00～17:00

場所：Web 会議形式による

出席者：(委員) 山口市長、防府市長、周南市長、山口県土木建築部長、森林管理事務所長、
森林整備センター所長、山口河川国道事務所長
(オブザーバー) 中国四国農政局地方参事官

【開催状況】



【決定事項】

佐波川水系流域治水プロジェクトの承認

【主な発言要旨】

(山口市長)

○森林や農地など自然環境の有する防災機能を保全・活用していくことが流域治水を推進していく上で非常に重要である。

○現在建築中の「新徳地総合支所」において、災害対策拠点としての機能はもちろんのこと、地域木材を活用するなど地域森林資源の整備にも寄与していきたいと考えており、これからも総合的な観点から佐波川流域の安心安全なまちづくりに努めてまいりたい。

(森林管理事務所長)

○森林の機能は目で見て見えるものではないため、流域治水プロジェクトへの参加を機に森林の水源涵養機能・土砂流出防止などこれらの機能を高度に発揮させるために、徐間伐などの森林整備が特に重要である。これまで以上に国民の皆様にご覧いただけるように頑張っていきたい。

(森林整備センター所長)

○上流域における対策として分収造林地における除間伐等の施業、間伐に伴い搬出に必要となる作業道の整備を計画的に実施することにより、樹木の成長や下層植生の繁茂を促すことで土壌の浸透性や土砂流出抑制効果が発揮されることから、各関係機関が実施する関係施策と連携し流域治水の効果を強化推進することで地域の皆様にご貢献してまいりたい。

(周南市長)

○和田支所・市民センターの整備にあたっては、和田地域の大部分が土砂災害や洪水による被害が想定されていることから、行政としては住民の安心・安全をどのようにして守っていくかが大きな課題であり、最終的な整備候補地を決定していくうえで、洪水による浸水への対策も併せて考えていく必要があるため、引き続き支援や協力をお願いしたい。

(防府市長)

○防府市が飲料水や工業用水の恩恵を受けているのは、周南市や山口市など関係機関が森林保全に取り組まれているおかげであり、大変感謝している。

○国県市が一体となって、河川浚渫などの治水対策を進めており、来年度以降もしっかりと進めていきたい。

(山口県土木建築部長)

○国や市としっかりと連携し、ハード・ソフト両面から、防災・減災対策のさらなる充実強化に取り組んでまいりたい。

○二級水系においても、国の一級水系におけるプロジェクトを参考に、同様の取り組みを進めていく考えであるので、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願いする。

(山口河川国道事務所長)

○プロジェクトを策定して終わりではなく各機関がこの度策定した「佐波川水系流域治水プロジェクト」を基に様々な場でプロジェクトをPR・活用していただくとともに、事業を加速的に推進していくことも重要であると考えている。

○流域治水プロジェクトについては毎年フォローアップを行っていくこととしており、事務局から説明いたしました「農地の保全」などの追加拡充も含め「流域治水」に資する取組について引き続きしっかり連携を取って進めて参りたい。